

	的・ねらい]	<p>理解する。</p> <p>○家族、地域、社会との関連から生活や福祉をとらえる。</p> <p>○社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を習得する。</p> <p>○障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解する。</p> <p>○成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関する制度の概要を理解する。</p>
4. 介護の基本Ⅰ	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・業務等を理解している。</p> <p>○個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。</p> <p>○介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、遵守している。</p> <p>○介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・業務等を理解する。</p> <p>○個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解する。</p> <p>○介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解する。</p>
5. 介護の基本Ⅱ	[到達目標]	<p>○介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</p> <p>○チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を習得している。</p> <p>○リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を習得</p>

	[授業の目的・ねらい]	<p>している。</p> <p>○介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を習得している。</p> <p>○介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握する。</p> <p>○チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を習得する。</p> <p>○リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を習得する。</p> <p>○介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を習得する。</p>
6. コミュニケーション技術	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を習得している。</p> <p>○援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。</p> <p>○利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。</p> <p>○状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。</p> <p>○介護におけるコミュニケーションの基本を理解する。</p> <p>○利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を理解する。</p> <p>○利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を理解する。</p> <p>○状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化（チームコミュニケーション）の技法を理解する。</p>
7. 生活支援技術Ⅰ	[到達目標]	○生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している。

	[授業の目的・ねらい]	<p>○ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実践できる。</p> <p>○介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を習得している。</p> <p>○居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点を理解している。</p> <p>○生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解する。</p> <p>○ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解する。</p> <p>○介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を理解する。</p> <p>○居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点を理解する。</p>
8. 生活支援技術Ⅱ	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。</p> <p>○移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行えるようにする。</p>
9. 介護過程Ⅰ	[到達目標]	<p>○介護過程の目的、意義、展開等を理解している。</p> <p>○介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。</p> <p>○チームで介護過程を展開する為の情報共有の方法、各職種の役割を理解している。</p>

		○認知症の人との関わり方・支援の基本を理解する。
15. 認知症の理解Ⅱ	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。</p> <p>○認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。</p> <p>○地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</p> <p>○認知症を医学的側面からみて理解する。</p> <p>○認知症の人や家族への支援を理解する。</p> <p>○地域におけるサポート体制を理解する。</p>
16. 障害の理解Ⅰ	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。</p> <p>○障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。</p> <p>○障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。</p> <p>○障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解する。</p> <p>○障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解する。</p> <p>○障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解する。</p>
17. 障害の理解Ⅱ	[到達目標]	<p>○様々な障害の種類・原因・特徴、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。</p> <p>○障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況</p>

		<p>に合わせた支援ができる。</p> <p>○地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</p> <p>○障害を医学的側面からみて理解する。</p> <p>○障害児者や家族への支援を理解する。</p> <p>○地域におけるサポート体制を理解する。</p>
18. こころとからだのしくみⅠ	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得している。</p> <p>○介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等）を理解する。</p>
19. こころとからだのしくみⅡ	<p>[到達目標]</p> <p>[授業の目的・ねらい]</p>	<p>○人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を理解している。</p> <p>○生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得している。</p> <p>○身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。</p> <p>○人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得する。</p> <p>○生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得する。</p> <p>○身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等を理解する。（留意点：移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）</p>

20. 医療的ケア	[到達目標]	○医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。
	[授業の目的・ねらい]	○医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養等）を安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。